



6月14日 東地申第71号

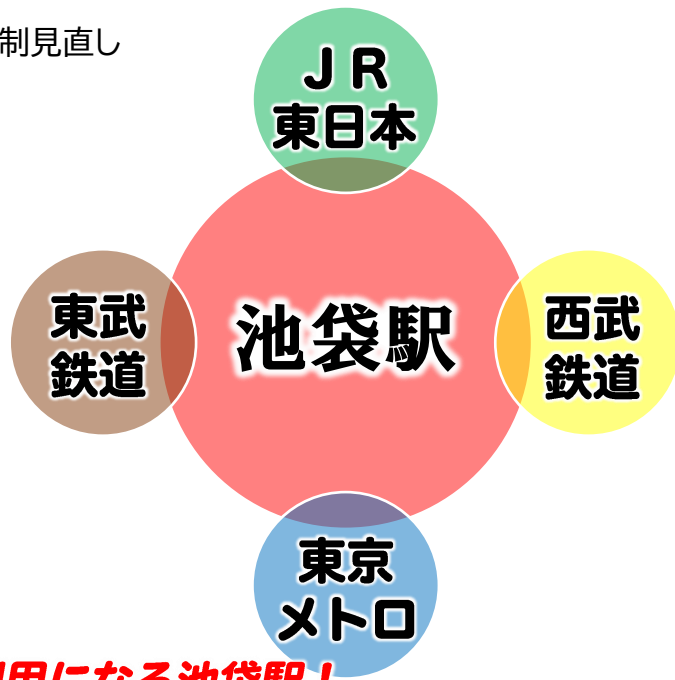
提出!

「2023年度営業関係施策(その1)」についての申し入れ【池袋営業統括センター(池袋駅)】

2023年度営業関係施策(その1)では、池袋駅の販売体制見直し(南出札閉鎖・中央出札窓口増)が示されています。



1日平均の乗車人員 407,490人!  
(JR東日本管内第2位)



**多くのお客さまがご利用になる池袋駅!**

**窓口でしか取り扱えない乗車券類、乗車変更、払い戻しなど  
窓口を求めて来駅されるお客さまも多い!**

**販売体制の縮小が、「変革2027」で示されている  
「社員・家族の幸福の実現」と「持続的な成長」につながるのか?**

<申し入れ内容>

【窓口閉鎖】

1. 池袋駅南出札を閉鎖出来る根拠を具体的に示すこと。
2. 南出札窓口閉鎖に伴い、周辺自治体・学校などへの説明について具体的に明らかにすること。
3. これまでの営業関係施策において、近隣駅の出札窓口閉鎖及びえきねっとや券売機のご利用を進めていることから、中央出札の指定席券売機(MV4台)を現状の台数を確保すること。
4. 中央出札に後方担当者を増員すること。

【作業ダイヤ】

1. 巣鴨駅と池袋駅の行き来する作業ダイヤを見直すこと。

【その他】

1. 話せる指定席券売機の課題を明らかにすること。また、課題を解消する具体的対策を示すこと。
2. 融合と連携による池袋営業統括センターの今後の考え方を明らかにすること。
3. 駅のサービスレベル・安全レベル、異常時対応の能力を現在より低下させないこと。また、社員の安全に対する意識を高めること。
4. 南出札跡地の活用を明らかにすること。

**社員が働きやすい・お客さまが利用しやすい駅を実現するために団体交渉に臨みます!**